

# 寺内町 田原本

古代下ツ道から近世中街道  
じないまち



絵：辻川 正司

まちづくりマップ

## 田原本・まちの歴史

田原本町は、奈良盆地の「国中」に位置し、唐古・鍵遺跡に見るように、すでに弥生時代、近畿最大の環濠集落が形成されていた。飛鳥、藤原、平城京を結ぶ大動脈「太子道」「中ツ道」「下ツ道」、下って中世の中街道の交通の要所として、また寺川など水運を利用した物流の集散地として発展した。

安土桃山時代には、「賤ヶ岳の七本槍」の一人、平野長泰が五千石で入部、すでに教行寺の進出に始まる寺内町は、教行寺移転の後、浄照寺と本誓寺が跡地に建立され、陣屋の建設と相まって特色ある町文化を発展させた。領主平野家が尊崇した津島神社、中でも祇園祭りは今に賑わいを見せている。

また、古代鏡の鑄造に深く関わった鏡作神社、太安万侶で知られる多神社、天武天皇の故事を伝える村屋神社などは、中和有数の式内大社でもある。

## 祭

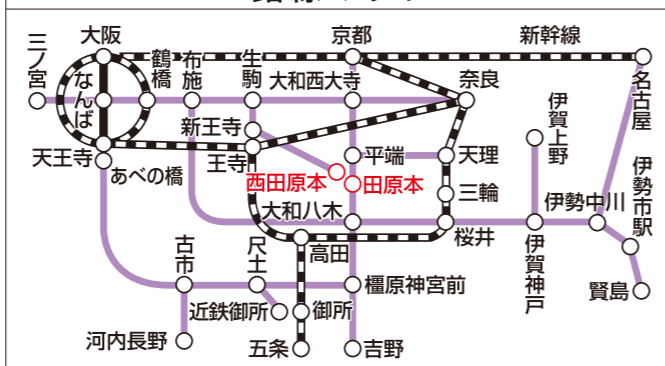
鏡作神社	御田植祭	2月21日に近い日曜日
鍵・今里	蛇巻	6月第1日曜日
村屋神社	茅輪くぐり	6月30日
津島神社	祇園祭	7月17日に近い土・日曜日
池神社	秋祭	10月18,19日に近い土・日曜日

## 賤ヶ岳の平野長泰

平野権平長泰は、21歳で木下藤吉郎、後の豊臣秀吉に仕えた。信長亡きあと秀吉と柴田勝家決戦(1583年)の賤ヶ岳で軍功をあげ、加藤清正、福島正則らとともに「賤ヶ岳の七本槍」として知られた。「賤ヶ岳合戦図屏風」(大阪城天守閣蔵)に、その勇姿が描かれている。



## 路線マップ



## 協働によるマップづくり

■奈良県では、地域資源を再発見するため、マップづくりを行っています。平成21年度は次の3地区で作成しました。



■このマップは、「田原本・まちをすきになる会」と「なら・まちづくりコンシェルジュ(事務局:奈良県地域デザイン推進課 TEL 0742-27-7515)」が協働で作成しました。

■平成22年(2010年)3月発行(平成27年3月改訂)

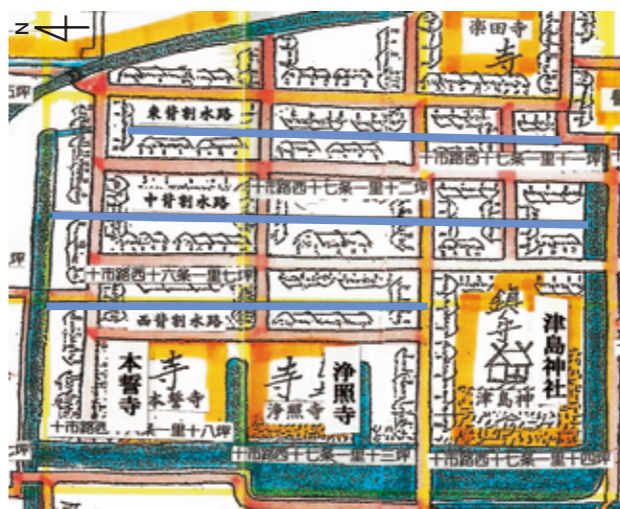
■問い合わせ先:  
田原本町観光協会(「磯城の里」内) TEL 0744-33-4560  
田原本・まちをすきになる会  
E-Mail: muryouan@m4.kcn.ne.jp FAX 0744-33-2127

## 周辺広域案内



町の花「スイセン」

## 田原本陣屋町・背割水路絵図



【田原本村絵図(江戸時代)部分】

田原本陣屋町・背割水路は田原本・平野藩二代藩主平野長勝が慶安元年(1648年)完成の田原本陣屋町の町割整備の時、町家の雨水、生活排水の為に「西」「中」「東」の3本の背割水路を整備したと考えられる。

それぞれ3本の背割水路は陣屋町の北境の魚町通りの北側水路に合流して西流する。この3本の背割水路の水は藩陣屋と陣屋町の間を流れる農業用水路とは隔絶されている。



現存する背割水路

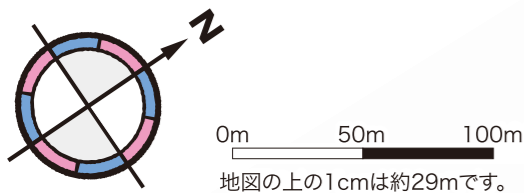
## 国史跡 唐古・鍵遺跡

弥生時代を代表する環濠集落。遺跡の面積は42ha。平成3年には楼閣を描いた土器片が出土し、注目を集めた。現在、唐古池の一角には楼閣が復元され、遺跡のシンボルとなっている。





まちづくりマップ  
 じないまち たわらもと  
**寺内町 田原本**



- 駐車場
- インフォメーション
- トイレ
- 交番
- ビューポイント



**① 植山医院**  
 昭和のモダニズムが外観意匠などに息づく。昭和七年（一九三二年）の建築で、木造二階建て。奇棟造、瓦葺鉄板葺。一階は診察室、二階は病室。



**② 津島神社**  
 古くは祇園社で牛頭天王を祭神とし、祇園祭は盛大に行われる。創建は二世紀以前に遡る。明治二十年（一八八七）に檜皮葺の本殿、他二棟が再建された。



**③ 田村家**  
 建物前面道路は、町内唯一「馬出し」状となり、建物が見出した形となっている。東端に土間、中央に居室があり西端が座敷。背後に多くの付属屋を持つ。明治十五年（一八九二）の建築。



**④ 楽田寺**  
 真言道場として天平元年（七二九）の創建。その後寺勢衰えたが、一四世紀に再建され、江戸期に融通念仏宗に改宗。正面に鐘楼門がある。



**⑤ 南町通り**  
 明治三十年（一八九七）頃築の八倉家を核に、往時を偲ぶる町並みが残されている。八倉家は切妻造、大屋根、瓦葺。庇は本瓦葺。



**⑥ 鍵岡本家**  
 堂々として風格ある昭和初期の民家建築を代表する。昭和十二年（一九三七）頃の築。木造二階建て。入母屋造。正面に店舗を配し、後方には主屋、内蔵、付属屋がある。



**⑧ 鍵岡分家**  
 天保十二年（一八四二）頃の建築で、薬局の名残を留める看板とともに、風情ある町並みの一角を形成し貴重である。



**⑩ 浄照寺**  
 真宗本願寺派大和五カ所御坊の二寺。慶安四年（一六二五）、二代目領主平野長勝が他寺を移築。本堂は異指定文化財。表門は秀吉ゆかりの伏見城の城門移築と伝え、真宗伽藍配置を形成する寺内町の要の大寺院である。



**⑬ 竹村本家**  
 戦国末頃からの名主の家柄。間口四十米ほどに主屋、内蔵、座敷等十棟ほどの建物が軒を接している。西北部にはL字型の数寄屋風建物が、桃山時代の様式を今に伝える。



**⑰ 新町町並み**  
 江戸初期、八尾の町場が分離して「八尾新町」として中街道筋に開かれ、大いに発展したとされる。



**⑱ 鏡作神社**  
 古代鏡作集団のいた鏡作郷の地に現存。江戸中期の三間社流造、千鳥破風付檜皮葺の本殿があり、三神一獸鏡が所蔵されている。築二〇〇年の神宮寺遺構である社務所は、一〇〇八年大修復となった。



**⑭ 奈良中央信用金庫旧本店**  
 昭和八年（一九三三）築の鉄筋コンクリート2階建。アーチ状の窓、飾り窓、軒裏の装飾などに昭和初期の銀行建築の特色をよく伝える。



**⑮ 田原本 聖救主教会**  
 日本聖公会の田原本布教の歴史は明治十六年（一八八三）の説教会に始まり、二八年には最初の会堂を建築し伝道堂を本格化した。現会堂は昭和八年（一九三三）築で勾配のきつい切妻造。平成一八年にはNHK朝ドラ「芋たこなんきん」で「マッサン」で使用された。



**⑱ 鏡作神社**  
 八尾



**近世 中街道**



**⑪ 平野廟**  
 本誓寺表門の境内南側にある方形造本瓦葺の領主平野家霊廟。南側は二代目長勝廟、享保二年（一七二七）、北側が九代目長勝廟。享保二年（一八五五）、堂宇の度重なる火災を免れ、当時のままに残る。



**⑫ 本誓寺**  
 平野家の菩提寺として長勝によって、江戸初期に再建されたが、度重なる火災で焼失、明治の大火災後は民家を飯堂としてし、昭和五十八年（一九八三）以降に現本堂その他の再建になった。



**⑬ 村田家**  
 一八世紀後半頃の建築。建物の由緒は明らかでないが、屋根に反りのある城のような外観、建築部材などから一般民家とは異なる公共的な建物と見られる。木造つし二階建、西側は入母屋、東側は切妻造で庇付き本瓦葺。